

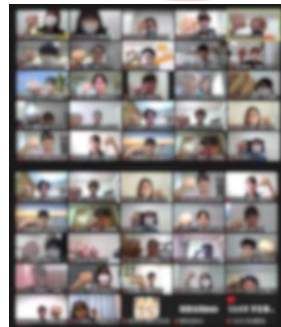
# 関西北陸ブロック ブロック学生委員会#4

## 概要

日程：2022年8月7日(日)  
場所：オンライン

## 参加者

- 龍谷大(1)、京教大(3)、奈良女(3)、奈教大(1)
- 奈良大(3)、滋慶大(2)、大教大(1)、阪公大(1)
- 近畿大(3)、大阪大(1)、阪電通(2)、神外大(1)
- 神高専(1)、関学大(3)、神親和(1)、兵庫県立(1)
- 計16会員28名



# 01 上半期総括

## ブロック全体で同じ方向へ

関西北陸ブロックでの上半期を振り返り、上半期総括を学生事務局が作成しました。ブロック学生委員会では各大学の正副委員長に、これらの上半期総括をどのように活用するか、下半期の活動に繋げていきたいか、を話し合いました。ブロック全体で同じ方向を向き、共通の目標に向けて頑張っていきましょう！

方針1 「組合員が参画する場づくり」  
私たちは、組合員が参画する場をつくり、組合員・大学が必要とし、組合員が参画したくなる大学生協づくりに取り組む。

全会員生協の取り組み状況	
取り組みあり	27 会員生協
取り組みなし	17 会員生協

半数以上の会員生協で取り組みがめばれた。  
新学期を中心とした組合員が参画した場づくりは多くの会員でできていますが、新学期後や総会・総代会での組合員が参画する場づくりはまだまだ少ない会員生協が多いという現状が分かります。

活動方針を把握しておくのは大切なことだし、それを正副委員長だけに留めずにGIみんなで考えたい。  
(京教大3年)

# 02 学生委員会マッピング

## 自大学を分析して今後の活動に活かす

全国学生委員会より発信された「学生委員会マッピング」を活用して、自大学での活動を今一度振り返りました。実際にマッピングが終わってからは、2会員に代表として全体で発表してもらいました。2会員とも自大学生協の現状を見据えて考えることができ、今後頑張りたいことについても話してくれました！自大学内でも活用して、さらに違った視点も取り入れられるといいですね！

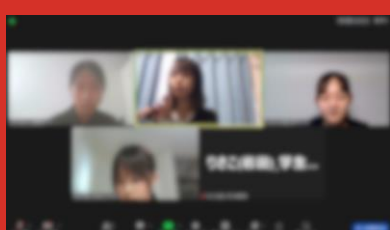


自大学では社会面での活動と大学と協力する面が少ないので、大学面から企画を進めていきたいと思う。  
(滋賀県大2年)

# 03 テーマセッション

## 悩みを相談し合いともに高め合う

最後の時間のテーマセッションでは、5つのテーマにそれぞれ分かれて自由に交流し合いました。前期に行われた企画事例の共有、SNSなどの広報、部会運営、といったところに多くの参加者が集まり、積極的に交流が行われていました！今回のテーマセッションが、今後の活動に活かされることを願っています！



新部員のことや運営のことで少し悩みがあったのだが、いろいろな意見をもらうことができ有意義だった。  
(関学大2年)